

令和2年度第1回 宇治市歴史的風致維持向上協議会 会議概要

(書面会議期間)

令和2年5月25日～令和2年6月5日

議 事

・協議会次第

1. 議事

- (1) 会長・副会長の選任について
- (2) 歴史的風内維持向上計画の令和元年度進捗評価について
- (3) 歴史的風致維持向上計画の軽微な変更について

2. 報告

(仮称)お茶と宇治のまち歴史公園整備運営事業に係る展示設計の概要

・会議概要

会長：森委員、副会長：仲委員 に決定

今回の書面会議での主な意見は

「令和元年度進行管理・評価シートに関する意見一覧」のとおり

令和元年度進行管理・評価シートに関する意見一覧

委員名	意見	今後の対応方針
山口敬太委員 (京都大学大学院)	歴史的建造物の修理・修景については、文化庁の補助事業で進められるものを除いて積極的に進められていないようですが、長期的に見て、宇治市内の歴史的建造物の修理・修景は重要な課題であるように思います。重文景の選定区域以外の地域については、歴史的風致の形成上重要な建造物を、「歴史的風致形成建造物」として指定し、街なみ景観整備事業などを活用して、より積極的な建造物の保全・活用を進めることを検討してもよいように思います。	重要文化的景観に係る文化庁の国庫補助事業や、本市が独自に行う景観形成助成金により対象の建造物の保全及び活用を図っているところですが、今後は、どの制度により建造物を保全し、及び活用していくことが望ましいか、街なみ景観整備事業についても候補に加えて検討していきたいと考えています。
	上記とも関連して、宇治茶関連の観光振興はまちづくり上、重要な課題であります。今後展開する観光プログラムの見通しの確立と、公民で連携した取り組みの推進、関連するソフト・ハードの整備が重要になると思います。フェンス、被覆棚等の工作物や擁壁等の修景も一つです。ポルドーやシャンパーニュ、ブルゴーニュなどのエノツーリズム施策からは学べるところが多いと思います。	「宇治市観光振興計画後期アクションプラン」においても、「宇治茶ブランド活用戦略」を掲げており、覆下茶園の風景や茶問屋が軒を連ねるたたずまいといった宇治市ならではの景観は、本市観光において重要と認識しています。今後、現在整備を進めている歴史公園での茶摘み体験を組み合わせた観光プログラムの確立等、茶業関連事業者をはじめ、関係機関と連携しながら計画的に取組を進めていく予定です。
	本関連事業以外の公共事業(市・府・国、道路、河川、公園等)について、独自の委員会を設置するほどの案件でないものについても、適切に歴史的風致に対する影響の評価や事前検討を行うべく、景観重要公共施設の積極的な指定や庁内の体制構築を強化するのが望ましいと思います。	工作物や擁壁などの修景については、特に公共事業において大規模な築造が行われることが多く、これまでも歩道整備事業や歩行空間整備事業、無電柱化事業などを歴史的風致維持向上計画に位置付け、事前に本委員会の意見をいただきながら進めてまいりました、今後も引き続き計画段階からの事前協議を求めていけるよう、庁内外の体制の強化を検討していきたいと考えています。
吉川圓良委員 (佛徳山興聖寺)	上、計画の題目に因んで鑑みるに、宇治上神社から興聖寺石門(龍門=総門)より宇治川上流に登る沿線の安然と美化を願いますとき、崖や斜面、その裾などの安全性と美化、路面や道脇の清掃。 宇治のおやま(大吉山、朝日山と南東に連なる十万余坪に余る山(佛徳山興聖寺領のところ))その山に寄り添って流れる(宇川・宇水=宇治川)河の東側淵=黒色の岩壁が連なる見事な巖肌、全く素晴らしい。その巖盤に護られて流れ下る、宇水(宇川の水)亭亭として清く大阪湾に送られる。この巖場の豪壮さは、鞍馬山川や嵐山川にも比す処の絶景であり、対岸の南側車道からの眺望は宇治川でこそその風景である。願わくは、河端(巖面に冠る)の草木の刈り取り払われますこと。 以上、これらのことに依り、美しい宇治川の水をより清く美しくして大阪湾へ贈り届けたく望みます。	現在、宇治川右岸の二子山から朝日山に至る山並みは、名勝宇治山として国の指定を受けています。今後、さらに南の山並みも追加指定を行う予定であり、このように文化財の指定を進めることにより保全を図るとともに、保存活用計画を策定することにより、具体的な保存・活用の方策を検討していきたいと考えています。
田原康男委員 (大幣座)	宇治式番にあります寺院(専修院)の山門が、道路拡幅の為に取壊しになります。聞きますと、江戸期の建物と聞きます。文化財指定に申請していない為、残念に思っています。	専修院の山門が撤去されることについては、市でも確認しています。今後、撤去までの間でどのような対応が可能か所有者等と調整を行っていききたいと考えています。
多田重光委員 (宇治市観光協会)	京都・宇治灯り絵巻の開催において、「市単独事業」ではなく、府と連携していることを記載するべきではないか。	「市単独事業」を「府・市連携事業」に修正させていただきます。
池村隆兆委員 (山城広域振興局)	【史跡整備事業】 歴史公園の整備について、JR宇治駅や平等院、宇治橋通り商店街から歴史公園へと人の流れを促す仕組みについて(例:観光看板整備、広告プロポジション計画等)も、計画に盛り込んでどうか。	宇治橋周辺の周遊観光の促進については、現計画においてもサイン整備等に取り組んでいることから、まずは事後評価を行い、その後必要に応じて第2期計画の中で検討していきたいと考えています。
	【重要文化的景観保存事業等】 文化財見学会等の歴史学習の機会において、改修・整備した建物の内外を見学し、維持すべき宇治の景観と建物の歴史等について、市民への周知・理解増進を図ってはどうか。	引き続き、市民への制度の周知のため景観形成助成の事例紹介をHP上で実施していくとともに、文化財見学会、各種フォーラム等において、建物の見学の機会を提供することにより、建物の歴史等についての市民への周知及び理解の増進を図っていききたいと考えています。
	【宇治茶普及啓発事業】 市民参加型イベントにおいて、アンケート調査を行うことで、満足度やニーズ等を把握し、今後の企画改善に繋げてはどうか。	市民茶摘みのつどいにおいて、アンケート調査を行い、満足度やニーズ等を把握し、事後の企画改善に繋げているほか、宇治茶まつりでは主催者の実行委員会において実施されている調査結果について、情報共有を行っています。引き続き、調査を実施するなかで、企画改善等に繋げていく予定です。
	【観光交通対策検討調査】 自転車での来訪者が年々増加している旨の記載があるが、ルート等の分析はされているか。自家用車と同じか。	自転車での来訪ルートについて、詳細な分析は行っていませんが、自家用車と同様に主要な幹線道路が使用されているものと認識しています。法整備が進められるなど自転車の安全利用促進が求められている中で、重点区域内の自転車の流入については、駅周辺に整備している駐輪場の利用促進を図りながら、今後もどのような対応が必要であるのか検討していきたいと考えています。